

令和2年度 地域振興推進費事業 総括表

木曾地域振興局

整理番号	課題区分	事業名	進捗	事業概要	事業費(円)	評価
3	C	信州まつもと空港発ドライブ観光パスポート制作事業(松本・諏訪・北アルプス地域振興局と共同実施)	完了	松本空港利用の旅行者の内、レンタカー利用者に対し、地域内での周遊、滞在及び消費の促進を図るための事業を実施しました。 ・観光施設等の情報を掲載し、当該施設への持参により特典を受けられる「レンタカーぐるっ得パス」の作成 ・同パスポートの配付によるキャンペーン実施等 ※執行管理は松本地域振興局が担当	286,000	達成
4	C	地域木材産業振興対策推進事業	完了	地域木材の高付加価値化推進のために、検討協議会の開催、輸送・需給マッチングに関する調査の委託、カラマツ材の需要拡大のための強度検査等を実施しました。	1,588,690	達成
6	C	社会的起業支援事業	完了	女性や若者を中心に木曾地域で新たな事業やサービス等をはじめようと考えている人を対象に、起業マインドを高めるための専門家による研修会を実施し、地域の活性化や地域課題の解決につながる起業を支援しました。	184,596	達成
8	C	リニア新時代に向けた広域観光の推進事業(南信州・上伊那と共同実施)	完了	リニア長野県駅(仮称)の活用による広域周遊観光を促進するため、木曾・上伊那・南信州の地域振興局と各地のDMO等による検討会等を設置し、旅行商品の造成支援及び観光PR、イベントの広域化等を進めました。 ※執行管理は南信州地域振興局が担当	509,000	達成
11	A	木曾地域スマート農業体験事業	完了	農業における労力軽減を目的に、メーカーから借り上げたアシストスーツを農業者に貸与し、作業状況を調査することによって、労力軽減の効果や導入する上での課題を明らかにしました。	146,300	達成
13	C	こどもの成長記念品作成事業	完了	地域の特産を活かした記念グッズを作成し人生の節目に贈る取組を行いました。R2年度は、南木曾町の「南木曾ねこ」「木工品」をベースにしたグッズを保育園入園児に配布しました。	210,035	達成
14	A	木曾地域職員防災研修会	完了	地域の防災力を高めるために、地域行政機関の職員を対象に「3密」を防ぐ避難所のあり方について研修を実施しました。	118,600	達成
15	B	若者への就業促進事業	完了	地元企業やハローワークと連携し、木曾地域の若者やUIターン希望者に対し地元企業の特徴を知り、関心を持てるよう働きかけるため企業情報を発信しました。 また、地元高校生を対象に企業説明会を実施しました。	293,150	達成
16	C	日本遺産「木曾路はすべて山の中」魅力発信事業	完了	木曾固有の地域資源(日本遺産、近代化遺産等)の認知度向上を図り、観光誘客を促進を図るために、地域資源をモチーフとした啓発資料(日本遺産カード等)を作成・配布し、木曾地域の魅力を広く発信しました。	305,250	達成
17	C	サイクルツーリズム推進事業	完了	サイクルツーリズムの推進のために、先進事例の収集、モデルコースの選定、現地体験会等を行いました。	291,113	達成
18	C	木曾路眺望・景観整備事業	完了	美しい木曾を更に磨き上げる意識醸成のために、地域の関係団体が取り組む木曾路の眺望・景観整備を紹介した啓発リーフレットを作成し、地域での回覧、道の駅での配布等を行いました。	99,000	達成
19	A	地域事業者応援事業	完了	#エール飯(テイクアウト情報等をまとめたリーフレット)を作製し、コロナ禍で厳しい状況にあった飲食店、小売業、宿泊業等の応援を行いました。事業者の要望を聞き取りながら事業を進め、販売促進のためのシールラリーも実施しました。	868,920	達成
20	A	移住者補足アンケート回収率向上事業	完了	移住者の動向を把握し、移住交流の増加策を検討するために実施しているアンケート調査に関し、対象者に地域材を用いた謝礼品を配布することにより回収率向上を図りました。	92,400	達成
21	A	木曾地域特産品PR事業	完了	地域の特産品であるすんき、そば、木工品の販路拡大及び観光商品としての魅力発信のために、フリーペーパーへの掲載、名古屋事務所と連携した栄駅でのディスプレイ展示、ラジオでの発信等を行いました。(展示会等への出展を計画していましたが、新型コロナウイルス感染拡大影響から中止となりました。)	652,169	一部達成
合計 14 事業					5,645,223	

【 廃止事業 】

整理番号	課題区分	事業名	当初計画 廃止の理由
1	B	木曾地区災害時医療救護訓練 (机上訓練)	災害時を想定し、災害医療シミュレーションキット(エマルゴトレーニングシステム)を使用した机上訓練を行い、関係機関間の連携を確認・検証します。
			管内の医療従事者を参集しての訓練を計画していましたが、医療従事者が新型コロナ感染拡大対策への対応のため研修に参加することができない状況であったため廃止としました。
2	C	御嶽山防災・減災対策事業	先進地視察(洞爺湖火山マイスターとの情報交換)、気象庁火山監視・警報センター視察等により、御嶽山火山マイスターを育成を進めます。
			視察先として計画していた地域(東京都、北海道)が、新型コロナ感染拡大の影響から移動自粛制限地域となってしまったため廃止としました。
5	C	木曾のそばブランド化推進事業 ※	「そば切り」文書の初出地である定勝寺において、そばの歴史を学ぶ会や体験イベントを開催することにより、木曾のそばを発信し、地域の特産品とともに、ブランド化を推進します。
			新型コロナ感染拡大の影響を受け、寺という会場の性質場「3密回避」が困難であること、また、飲食を伴うイベントを行うべきではないとの判断から廃止としました。
7	C	木材・木工製品利用拡大推進事業 ※	県内外の木材・木工製品に係る展示会に参加し、木曾の木材、製品の強みや魅力を広く発信します。
			新型コロナ感染拡大の影響により出展を予定していた首都圏での展示会が開催中止となったため廃止としました。
9	A	ユニバーサルツーリズム推進事業	年齢や国籍、障がいの有無に関わらず、山岳観光や宿場観光を楽しめる木曾にできるよう「ユニバーサルツーリズム」を学べる研修会や体験会を実施します。
			地域の観光事業者を対象とする研修会を計画していましたが、新型コロナ感染拡大の影響を受け、GOTOトラベルの開始、中止等の先の見えない状況が続いており、観光事業者との開催調整ができない状況であったため廃止としました。
10	A	「御嶽はくさい」産地維持のための 農家労力確保研修会	ハクサイ農家の高齢化により、ブランド品目「御嶽はくさい」産地の維持が喫緊の課題となっているため、農家の労力確保対策や労務管理方法を習得させるための視察、研修会を実施します。
			ハクサイの収穫時期に視察、研修を行う計画でしたが、視察先が新型コロナ患者発生により、移動自粛制限地域となったため視察、講師の招聘ともに困難となり廃止としました。
12	A	発酵食品を生かした木曾地域ブラン ディング推進事業 ※	郷土食「すんき」の販路拡大(知名度向上)のため、すんき汁のふるまい、商談会等への出展、すんき漬け体験等のPRを行います。
			新型コロナ感染拡大の影響により出展を予定していた首都圏・中京圏での商談会が開催中止となったこと、また、飲食を伴うイベントを行うべきではないとの判断もあり廃止としました。

※特産品(そば、木製品、すんき)の販売促進については、「21木曾地域特産品PR事業」により実施しました。